



七中だより

第9号

令和4年1月14日（金）

校長 勝野 能光

梅の花が咲きはじめました

校長 勝野 能光

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、おおさわ学園そして第七中学校の教育活動に対し温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

校庭にある梅の木が、力強く花を咲かせ始めました。梅は、厳しい寒さをじっと耐え、まだ寒さが残るうちから凜として花を咲かせます。

「歳寒三友」(さいかんさんゆう)

梅は「松・竹・梅」の一つとして有名です。これは、三つの等級を表す場合によく使われていますが、昔の人は、松や竹が冬の寒気に耐えて緑を保ち続けることの強さに畏敬の念を抱き、梅は寒さがまだ残る中、百花に先がけて花を咲かせることの素晴らしさを称えたものです。植物とはいえ厳しい自然の中でたくましく育つ姿に畏敬の念をもち、松・竹・梅をして「歳寒三友」と言うようになりました。「三友」とは友としてふさわしい「正直な人・忠実な人・多聞な人」をいいます。

「松」は厳冬にも落葉せず、断崖絶壁にもよく根を張ることから、忍耐強く、真心を尽くす人。「竹」は節をもった人。また隠し立ての無い正直な人。「梅」は厳冬に咲くことから、厳しい状況でも笑顔を決やさない人。また梅の実は、やがて落ちて芽を出すことから、生命のしるしとされてきました。これらの木々は外観も美しく、内容も充実していることから、松・竹・梅をとらえて、素晴らしい3人の友として称えられています。昨年、七中生は、励まし合い助け合い生活することができました。あいさつの中にも温かさが感じられます。まさに歳寒三友に一步近づいています。2年生は、3月には自然教室があります。スキー実習や宿舎での生活を通して大いに友情を深め合って成長してほしいと思います。

「梅は百花のさきがけ」

年の初めに、梅の花があらゆる花の先頭を切って咲き始め春を告げることをいいます。

昨年、七中は授業、委員会活動、運動会、音楽祭、校外学習、ボランティア、部活動等々生徒の力で取り組み成功を収めることができました。活躍の七中を引っ張ってきたのは、リーダーとなる3年生の力です。3年生が七中で示した力「私たちの背中を見て」は、今月から始まる高校等の入試で、そして今後の進路先での生活において発揮される力のさきがけとなることは間違いありません。みなさんの力が遺憾なく発揮されることを心から期待しています。

「華やかに人目を集める花もある そっと野に咲く花もある 香りに生きる花もある」

自身を振り返って、自分はどんな花を咲かせたいのか。いつ種を播くのがいいのか。どのように種を播くのか等を考えることは大切です。私たちは、生まれながらにしてたくさんの種を持っています。どんな種を播いてどんな花をいつ咲かせるのかは自分次第です。それぞれ自分に合った咲き方があります。中学生時代に自分自身もっている種はどんな花の種なのか自分自身のことをよく観察してみることが大切です。1年生はSDGsを意識した「公園を創ろう」発表があります。持続可能な開発目標の視点からも自分の種、自分の花について考えることもできます。

3学期のスタートです

1月11日(火)3学期始業式を迎えました。非常に強い感染力をもつ新型コロナウイルス・オミクロン株の感染防止のために放送で行いました。スピーカーから流れてくる校長先生や生徒代表の

言葉に、生徒は皆真剣に耳を傾けていました。また、生活指導主任の岡田 求主幹教諭からは3学期の生活について、佐々木亜希子主任養護教諭からは、新型コロナ感染防止のための留意事項について話がありました。



生徒代表の言葉 生徒会会長 川上 彩夏さん

皆さん、おはようございます。そして、明けましておめでとうございます。皆さんは冬休みはどう過ごしましたか。この冬休みを有意義なものにできたでしょうか。

さて、3学期が始まりました。3学期は、それぞれの学年を締めくくる学期です。2学期に出てきた反省点を改善できるような行動をとり、よりよい学校生活を過ごせるとよいですね。

1年生のみなさんは、4月から2年生になります。2年生になると、下級生が出来、学校のそれぞれの組織の中心となります。3学期のうちに、私たち2年生や3年生の背中を見て、たくさん学んでください。

2年生のみなさんは、4月からこの学校の最高学年になります。そして、組織の中心から、この第七中学校の中心であり、顔となります。3年生になるともう頼れる先輩はいません。一人一人が、今の1年生と来年度入学してくる新1年生に背中を見せなければいけません。この3か月を有意義に使い、最高学年になる心の準備をしましょう。

3年生のみなさんは、この第七中学校で過ごす時間がいよいよよわすかとなってきました。それぞれの進路決定に向けて忙しい時期だと思いますが、まだまだ至らない私たち下級生に、七中生としての姿を教えてください。そして、残りの中学校生活を悔いのないように楽しんでください。また、残りの時間を楽しむというのは、3年生だけの話ではなく、1年生と2年生も同様です。今のクラスのメンバーで作り上げている、クラスの雰囲気味わえるのも残り少ないです。残りの時間を有意義なものにするとともに、

学校生活を楽しみましょう。

「緑の募金」ご協力ありがとうございました

昨年6月29日(火)～7月1日(木)にかけて生徒会本部役員を中心に「緑の羽根募金活動」と称し活動を行いました。三鷹市都市整備部緑と公園課より下記のとおり、正式な募金

集計額のお知らせがありました。今回の活動で集まった募金は、都市の緑化や森林の保護に使用されます。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

集計額 20,075円



七中生活躍しています

学校の活動以外に様々なスポーツや作文、美術等のコンテストで七中生在活躍していますので、掲載します。

【令和3年度三鷹市明るい選挙啓発コンクール】

- 金賞 小野 立(1B) 蛭間 悠介(1B)
- 銀賞 上條 斗耶(1A) 渡邊 瑛真(1A) 村上 凜埜(1B) 山崎 彩世(1B)
吉本 朋代(1B) 翁長 結衣(1C)

【第69回東京都中学校学年別水泳大会】

- 1年女子50m自由形 第6位島村莉乃愛(1B)
- 3年男子50m背泳ぎ 第4位小谷野航汰(3B)

【令和3年度中学生人権作文コンテスト】

- 多摩東人権擁護委員協議会長賞 中村 凜(2B)
- 三鷹市人権擁護委員会優良賞 稲生 優和(2B)

【第71回三鷹市市民スポーツ大会バスケットボール競技】

- 第3位 男子バスケットボール部 ○努力選手賞 森 隼人(2B)

【第55回中学生の税についての作文】

- 武蔵野税務署長賞 安田 紗菜(3A)
- 武蔵野納税貯蓄組合連合会優秀賞 吉田 凜音(3A)

※安田さんと吉田さんの表彰の様子は下記に掲載しました。また安田さんは、12月25日(土)に「一日税務署長」イベントに参加し、武蔵野税務署長として、同税務署幹部や納税貯蓄組合役員の皆様との座談会等に参加しました。



おおさわ歴史探検隊



12月4日(土) CS推進委員、CS広報部会の皆様、そして、大沢台小、羽沢小、七中の有志の児童・生徒の皆さんたちで、おおさわ歴史探検隊としておおさわ学園近郊の史跡等を探検しました。龍源寺、新選組の近藤 勇の生家跡、武蔵野の森公園内の掩体壕(えんたいごう)等を訪れ、タブレットで撮影したり、貴重な話をうかがい記録を取ったりしました。今回の取材の内容は10月30日(土)の探検と合わせて記事に起こし「令和4年度おおさわスクールコミュニティ・カレンダー」に掲載される予定です。



青少対羽沢地区ドッジボール大会

12月5日(日)青少対羽沢地区ドッジボール大会が羽沢小学校で行われました。本校からは34名の生徒がボランティアとして参加し審判やチームの招集等のお手伝いをしました。青少対の委員や羽沢小のPTA等の皆様のご指導に従い熱心に活動しました。大会終了後、七中の生徒のおかげで、競技が速やかに進行できたと感謝の言葉をいただきました。



力走！マラソン大会

12月15日(水)マラソン大会を実施しました。好天の下、ゴールを目指して力走しました。実施に当たり、大沢台及び羽沢地区交通安全対策委員会、三鷹市交通安全協会、三鷹市警察署の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。またPTAをはじめとする保護者の皆様にも、生徒の安全確保にご尽力いただき、感謝申し上げます。



《2月の主な行事予定》



- 1日(火) 安全指導
- 2日(水) 学園研①カット (②③④総)
- 3日(木) 専門委員会
③カット (①②④⑤⑥)
- 7日(月) 指導課訪問
①②カット (③④⑤⑥)
- 8日(火) 中央委員会
- 9日(水) ⑤カット (①②③④)
- 10日(木) 私立高校一般入試 (始)
- 14日(月) 全校朝礼 給食運営協議会
- 18日(金) 避難訓練
- 21日(月) 都立高校一次入試
- 22日(火) 第4回定期考査
(理・英・音 給食なし)
- 24日(木) 第4回定期考査
(数・社・美 給食なし)
- 25日(金) 第4回定期考査
(国・技家・保体 給食なし)
E組校外学習
- 28日(月) 文化芸術鑑賞
③④カット (学②⑤⑥)

※新型コロナウイルスの感染状況により、予定が変更になることもあります。

オリンピック・パラリンピック教育講演会



12月20日(月)オリンピック・パラリンピック教育講演会を実施しました。講師には元サッカー日本代表・現FC東京クラブコミュニケーターの石川直宏氏をお招きしました。石川氏には「ピンチこそチャンス」をテーマに、ピンチの時には、その時自分ができることやり続けること、「なりたい自分」を思いながら努力すること等たいへん貴重なお話をいただきました。